

# 国立総合大学の教職教養科目

## 教育学部と開放制教職課程を有する大学の一事例

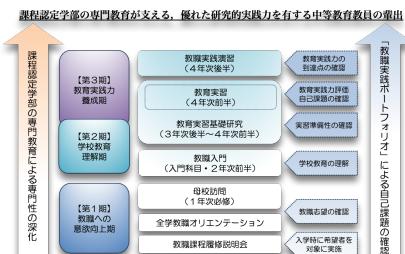
高旗 浩志 (岡山大学教師教育開発センター)



- ・**教育職員免許法施行規則による「教職教養科目」の単位数の変遷は？**
  - 現行の施行規則では、第三欄と第四欄で20単位…4日間（2単位）×10科目=40日間
- ・**「教職教養」と「教育学教養」との関係は、=?、=?、=?、=?、=?、=?…?**
  - 教育職員免許法施行規則は、教育学研究者の存在意義を担保している？
  - 教育職員免許法施行規則は、教育学研究以外も巻き込む「アリーナ」となりつつある？
- ・**「各科目に含めるべき事項」の増加と細分化は何をもたらしているか？**
  - 1988年改正「第〇欄」、1998年改正「各科目に含めるべき事項」、その後の改正とともに
- ・**学士課程における教職教養科目は、どのような内容で、何単位あれば良いのか？**
  - 併せて、「必修」「選択必修」「選択」の幅は、どのようにあるべきか？
  - 内容の創造に対して、学会は、そして各大学は、どのように貢献し得るのか？
- ・**「大学が独自に設定する科目」の枠を、将来の不遇となる教職教養科目の創造に繋げて来る**
  - 教職教養の充実よりも、教科教育の充実よりも、副免取得を優先していないか？
  - 教員採用試験における複数免許保持者への「加点」制度という現実…？

# 建增 減築 再生 ？ ？ ？

「いずれか」か、「いずれも」か、「いずれでもない」のか？



# 教職教養科目

→そもそも、何単位あれば良い？／どのような内容があるべき？

## 【基本的な知識と理解：pp.6-8】

- ①教育の原理と基本概念の理解
- ②教育の目的に関する探究の理解
- ③教育の歴史的理
- ④教育の社会・文化的多様性の理解
- ⑤学習過程とそれへの教育的介入の理解
- ⑥教育事象と社会的事象との相互関係の理解

## 【学士課程で目指すべき能力：pp.9-10】

- ア.教育事象について批判的に考察することができる。
- イ.特定の教育的営みに関与し、その部分あるいは全体を構想／具体化することができる。
- ウ.教育事象を考察したり、教育的営みに関与したりする際に、効果的にコミュニケーションを行うことができる。
- エ.教育事象を考察したり、教育的営みに関与したりする際に、効果的に協働することができる。
- オ.生涯にわたって教育について学び続けるための基礎を身につけている。



5

# 教職教養科目

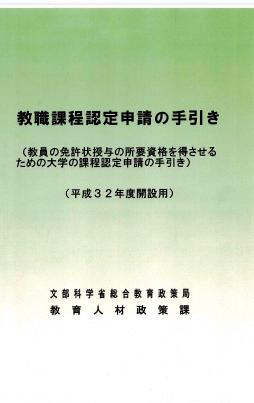
→そもそも、何単位あれば良い？／どのような内容があるべき？

## 【第三欄：教育の基礎的理解に関する科目】

- ・教育の理念ならびに教育に関する歴史及び思想
- ・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）
- ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）
- ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
- ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解
- ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）

## 【第四欄：道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目】

- ・道徳の理論及び指導法
- ・総合的な学習の時間の指導法
- ・特別活動の指導法
- ・教育の方法及び技術
- ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法
- ・生徒指導の理論及び方法
- ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法
- ・道路指導及びキャリア教育の理論及び方法



6

# 教職教養科目

教育職員免許法施行規則から

- ・小中高とも一種免許状取得には**59単位**が必要
- ・このうち約半数の30単位が、第二欄の「教科及び教科の指導法に関する科目」
- ・「教職教養科目」は**20単位+2単位**
- 第三欄：6事項10単位／第四欄：8事項10単位
- 第六欄：2単位（大学が独自に設定する科目）
- ・2016年改正は「科目区分の大括り化」の一方で、「事項の細分化」を進めた。
- ・カレントトピックに対応するための「事項の新規創設」と、事項内の「（……を含む。）」の増加
- ・各事項に「授業科目の1単位化」で対応せざるを得なくなっている…？

欄	科目	各科目に含めることが必要な事項	一種
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 教科及び教科の指導法に関する各科目における複数の事項を合せた内容に係る科目（複合科目） 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む。）	30
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	10
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 道路指導（キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。）の理論及び方法	10
第五欄	教育実践に関する科目	教育実践（学校イターンシップ（学校体験活動）を2事項まで含むことができる。） 教職実践演習	5
第六欄	大学が独自に第二欄～第五欄に掲げる科目 設定する科目	大学が独自に第二欄～第五欄に掲げる科目に準ずる科目	2
	合計		59

7

# 教職教養科目

教育職員免許法施行規則の変遷から

	教職に関する専門科目*1	教職教養科目*2	特記事項
1949年免許法	25単位	<b>21単位</b>	左記の単位数には「その他大学の適宜加える教職科目」13単位を含む。 教育原理4、「教育心理学、児童心理学」4、（教育実習4）
1954年改正	16単位	<b>12単位</b>	左記の単位数には「その他大学の適宜加える教職科目」4単位を含む。 教育原理4、「教育心理学、児童心理学」4、（教育実習4）
1987年以前？	16単位	<b>12単位</b>	左記の単位数には「その他大学の適宜加える教職科目」2単位を含む。 教育原理4、「教育心理学、児童心理学」4、（教育実習4）
1988年改正	23単位	<b>18単位</b>	「教職に関する科目」に「第〇欄」の区分が登場する。教育実習事前事後指導科目の1単位必修化。 第二欄12、第三欄4（教科教育法を除く）、第五欄（生徒指導、教育相談）2
1998年改正	23単位	<b>18単位</b>	「教職の意義等に関する科目」2と「総合演習」2が加わる。「生徒指導、教育相談」が4に。 「教育の基礎理論に関する科目」を3事項に整理し6単位、第四欄（教育課程、道徳、特活、方法）4単位。
2009年改正	23単位	<b>16単位</b>	「総合演習」2が「教職実践演習」2に置き換わる。 「教科又は教職に関する科目」の枠が開設され、10単位が必修となる。
2016年改正	27単位	<b>20単位</b>	「科目区分の大括り化」。「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」1単位必修化 「教科又は教職に関する科目」が「大学が独自に設定する科目」となり2単位必修化。

\*1…「教材研究」「各教科の指導法」に関する科目、「教科又は教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」の単位数を除く。

教育実習、総合演習、教職実践演習は含む。

\*2…\*1のうち、教育実習、教職実践演習、教材研究、各教科の指導法に関する科目の単位数を除く。

8

## 本学教育学部の教職教養科目

### 単位数の変遷、「必修／選択必修／選択」、一般教養との関係等

		2019 H31	2006 H18	2003 H15	1999 H11	1998 H10	1994 H06	1988 S63
教育職員免許法施行規則	小学校1種の最低修得単位数	59	59	59	59	59	59	48
	「教職教養科目」の最低修得単位数	20	18	18	18	18	18	12
本学 教育学部	卒業要件に 関する事項	本学の「一般教養」科目の必修単位数	28	31	31	31	36	52
	(1) 教育学部	124	135	131	127-133	126	133	133
	(2) 教職教養科目の必修	20	32	26	26	18	18	14
	(3) (2)のうち科目指定の「必修」	14	22	14	14	8	8	8
	「選択必修」の単位数	6	10	12	12	10	10	6
	「選択必修」の間設単位数	9	36	48	100	48	48	28
	「選択」を含めた間設単位数	40	84	116	110	86	84	79
大学が独自設定する科目 (教科又は教職に関する科目)	免許法上の最低修得単位数	2	10	10	10	-	-	-
本学の卒業要件	2	4	2	2	-	-	-	-
左記に係る本学の間設単位数	38.5	40	24	23	-	-	-	-

注1: ここで言う「教職教養科目」には教育実習、教職実践演習、各教科の指導法に関する科目を除いている。

注2: 本学教育学部の「学生の手引」に基づいて整理しており、学部改組等の事情を含む関係から、掲載年度は不揃いである。

9

## 本学教育学部の教職教養科目

### 【第三欄：教育の基礎的理義に関する科目】

- 卒業要件は10単位（免許法通り。第四欄も。）
- 7科目を必修科目として設定（グレイの網掛）
- 5科目を選択必修科目として設定（ブルーの太字）
- 5科目から3科目を選べば必修を満たす。
- 「選択」（11単位）は、教育学専修と教育心理学専修の専修科目（ダブルカウントはできない）。
- 「選択」は各科目とも十数名程度の履修者数に留まる。
- 限られた卒業要件単位数に、多様な選択科目を用意することが、自立的・主体的な履修行動をもたらすか？
- 1単位化が進むことにより、教職教養科目を通じた資質能力の育成に、担当者から不安の声が上がっている。

区分I	区分II	選必	授業科目名	単位	年次	卒業要件		
教育の基礎的理義に関する科目		必修	教育概説A	1	1	1		
		選必	学校と教育の歴史A	1	1	(1)		
		選択	教育哲学A	1	2			
			日本教育史A	1	2			
			西洋教育史A	1	2			
		必修	教職入門A	1	1	1		
		選必	教職A	1	1	(1)		
		必修	教育の制度と社会AI	1	1	1		
		選必	教育の制度と社会AII	1	1	(1)		
		選択	教育社会学A	1	2			
			地域教育行政論A	1	2			
			生徒学習論A	1	2			
			学校組織のマネジメントA	1	3			
		選択	人権・同和教育AI	1	1			
			人権・同和教育AII	1	1			
		必修	教育心理学概説A	1	1	1		
		選必	児童心理学概説A	1	1	1		
		選必	学校教育心理学A	1	1	(1)		
		選必	児童心理学A	1	1	(1)		
		選択	学園心理学A	1	2			
			児童心理学特論A	1	2			
		特別の支援を必要とする児童、 児童及び生徒に対する理解	必修	特別支援教育の基本A	1	3	1	
			教育課程の意義及び編成の方法	必修	カリキュラム論A	1	2	1

## 本学教育学部の教職教養科目

### 【第六欄：大学が独自に設定する科目】

- このうち、卒業要件上の必修は2単位
- 一方、開設単位数は38.5単位。その内訳は三区分できる。
  - ① 現代的教育課題：16単位
  - ② 体験的学習：8.5単位
  - ③ 教科横断的思考・表現法：14単位
- 内容は次のように整理できる。
  - ① 特定の教員の尽力により属人的に開設された科目
  - ② 保育士資格、学校図書館司書教諭等、資格取得に係る科目
  - ③ 小学校教諭志望者に理数系・ICT関係を強化しようとする科目
  - ④ 旧ゼロ免課程や「総合演習」から引き継いでいる科目
- カレントトピックに対応しつつ、「次代の教職教養科目」として不易となる科目を、各大学・学部が独自に創造することを期待された枠組ではないか？

区分I	区分II	選必	授業科目名	単位	年次	卒業要件
大学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	現代的 課題	選択 必修	対話による社会参画入門	1	1	
			教育における新聞活用の理論と実際	1	3	
			小学校におけるものづくり・情報教育	1	1	
			小学校におけるものづくり・環境教育	1	1	
	小学校における情報モラル教育	1	1			
	社会福祉	1	2			
	児童家庭福祉	1	2			
社会的養護	1	3				
家庭支援論	1	3				
体験的 学習	教科横断的 思考・ 表現法	フィールドチャレンジ	1	1		
		野外活動の理論と実際	1	1		
		グローバル特別実習	1	1		
		くらしと環境	1	1		
		アートとコミュニケーション	1	2		
学校経営と学校図書館	1	3				
学習指導と学校図書館	1	3				
学校図書館・メディアの構成	1	3				
語と人間形成	1	3				
情報メディアの活用	1	3				

※一部抜粋して掲載

## 本学開放制教職課程の教職教養科目

### 中学校教諭一種免許状を事例に

- 最低必要単位数は21単位。
- 第三欄が教育学部よりも1単位多い。
  - ① 本学の「60分授業・クオーター制導入」（2016年度）
  - ② ①に合わせた時間割配置の抜本的見直しが可能
  - ③ ②により定期開講のコマが確保できた
- 非常勤講師と集中講義への依存度の高さ
  - ① 教師教育開発センター設立以前からの慣例
  - ② 全21単位のうち、9単位を非常勤講師で開講
  - ③ いざれも夏季集中講義
- 「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」への対応は、「教職入門」を1単位に減じることで対応せざるを得ない。

欄	科目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位	最低必要 単位数
第三欄 教育の基礎的理義に関する科目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育概説DI-II	1-1		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容	教職入門DI-II	1-1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育の制度と社会DI-II	1-1		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	人権・同和教育DI-II	(1-1)		
	特別の支援を必要とする児童、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基本B	1		
第四欄 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び技術、教科相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論DI-II	1-1		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法D	1		
	特別活動の指導法	特別活動論	1		
	教育の方法及び技術	教育の法論DI-II	1-1		
	生徒指導論DI-II	生徒指導論DI-II	1-1		
…非常勤講師担当科目を示す。「人権・同和教育DI-II」は選択科目。	教育相談の理論及び方法	教育相談論B	1		
	進路指導論の理論及び方法	進路指導論B	1		
					10

12

# おわりに お伝えしたいこと／お知恵を頂きたいこと

- ・教育職員免許法施行規則による「教職教養科目」の単位数をどうするか?  
→現行の施行規則では、第三欄と第四欄で20単位…4日間（2単位）×10科目=40日間
- ・「教職教養」と「教育学教養」との関係を、=?, ≠?, ⊂?, ⊃?, ≠....のどれと捉えるか?  
→教育職員免許法施行規則は、教育学研究者の存在意義を担保している?  
→教育職員免許法施行規則は、教育学研究以外も巻き込む「アリーナ」となりつつある?
- ・「各科目に含めるべき事項」の増加と細分化をどう捉えるか?  
→各欄の単位数を変えるべきか、事項数は増えざるを得ないのか、いったん増やしたもので減算できるのか?
- ・学士課程における教職教養科目は、どのような内容で、何単位なければならないのか?  
→併せて、「必修」「選択必修」「選択」の幅は、どのようにあるべきか?  
→内容の創造に対して、学会は、そして各大学は、どのように貢献し得るのか?
- ・「大学が独自に設定する科目」の枠を、将来の不易となる教職教養科目の創造に繋げるには?  
→教職教養の充実よりも、教科教育の充実よりも、副免取得を優先していないいか?  
→教員採用試験における複数免許保持者への「加点」制度という現実は無視すべきか?



13

## 【参考文献】

- ・岡本洋三（1997）『開放制教員養成制度論』大空社。
- ・浜田博文・榎原禎弘・西山薫・岩田康之（1997）「1954年免許法改正前後における小学校教員養成の展開」『東京学芸大学紀要第1部門』48, 105-128頁。
- ・西山 薫（2001）「1950年代から1960年代の政策動向」TEES研究会編『「大学における教員養成」の歴史的研究 一戦後「教育学部」史研究』273-293頁、学文社。
- ・浜田博文（2001）「1954年免許法改正前後における小学校教員養成の展開」TEES研究会編『「大学における教員養成」の歴史的研究 一戦後「教育学部」史研究』295-328頁、学文社。
- ・北神正行（2001）「教育職員免許法の成立過程」TEES研究会編『「大学における教員養成」の歴史的研究 一戦後「教育学部」史研究』99-125頁、学文社。
- ・勝野正章（2008）「教職課程の認定と評価をめぐる最近の政策について」日本教師教育学会編『日本の教師教育改革』104-116頁、学事出版。
- ・下地秀樹（2014）「本学教職事始め 一歴史的現在の教育原論・序説（1）」立教大学教職課程『教職研究』第25号（臨時増刊），11-23頁
- ・下地秀樹（2015）「教職専門科目「教育原論」の由緒 一歴史的現在の教育原論・序説（2）」立教大学教職課程『教職研究』第26号，11-27頁
- ・高旗浩志（2020）「教育内容・教育方法、教職実践演習」早田幸政編著／大学基準協会・大学評価研究所企画『教員養成教育の質保証への提言 一養成・採用・研修の一体改革への取組み』ミネルヴァ書房, 113-129頁。

14